

## 効果的な博学連携を目指して

森田 知貴

### はじめに

博学連携とは、博物館と学校が相互に連携・協力して子供たちの教育に当たる取組のことです。博物館には、貴重な教育資源が豊富にあります。また、専門的知識をもった学芸員もいます。この博物館の教育的価値を学校の教育現場で有効に活用することが子供たちの深い学びに繋がります。

当館では、講師派遣一覧表を作成して、近隣の小中学校へ講師派遣の活用の仕方を説明しています。一人でも多くの子供たちの豊かな学びのために、学校とよりよい連携を図ることが博物館の使命であると考えています。そして、子供たちの将来の夢の実現に向け、生涯にわたって学び続ける意欲や態度の基礎を育成していければと思います。

### 出前授業について

出前授業の内容は4つあります。植物の様々なタイプのタネを観察して、タネについて学習する『タネのお話』。昆虫の裏表標本を観察し、からだのつ



『タネのお話』の様子



『土地のつくりと変化』の様子

くりについて学習する『昆虫のからだのつくり』。動物の剥製を観察し、からだのつくりについて学習する『動物のからだのつくり』。礫・砂・泥に触れ、違いを知り、火山灰の観察を行う『土地のつくりと変化』です。

どの内容も、博物館の強みである「資料の豊富さ」を活かし、「本物に触れる」という博物館ならではの体験的な授業を展開しています。

### 体験学習について

体験学習の内容も4つあります。名勝天然記念物「長瀬」の中心にある岩畳を散策しながら、岩畳のつくりやそこに生息している動植物を目の前にしての解説等を行う『岩畳の観察』。学校の近くの川で、水生昆虫を採取して、からだのつくりや生息している環境を学ぶ『水生昆虫の観察』。天然記念物に指定されている『ようばけ』で、化石採取を行い、化石について学ぶ『化石の採取と観察』。実物化石を観察しながらレプリカをつくる『化石のレプリカづくり』を行っています。



『化石採取』の様子



『水生昆虫採集』の様子

### 講演・講座について

天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」についての講演。学校職員に対して、「博学連携事業」や「博物館の利用」についての講演を行っています。また、講演内容については、可能な限り要望に沿えるよう対応しています。

### 終わりに

利用した子供たちの声に耳を傾けると、「今までで一番楽しい授業だった」「とても集中して授業を行えた」「また来てほしい」などの意見が多く、ほとんどの子供が満足してくれています。今後も博物館と学校が連携・協力して、子供たちの良さを引出し、効果的な博学連携を進めたいと思います。

(もりた ともし・担当課長)